

令和7年度 愛川町立菅原小学校 グランドデザイン

愛川町教育大綱 基本目標

- 和:互いに協力し合える社会性のある人間の育成
- 徳:明るく、心豊かな人間の育成
- 体:健康・体力を増進し、生命を尊重する人間の育成
- 知:学ぶ楽しさを知り、個性を伸ばす人間の育成

菅原小学校 教育目標

響き合う

～心豊かに 生き生きと～

愛川東中学校区 教育目標

「夢に向かって自立して生きる児童・生徒の育成」共に挑戦一歩ずつ瞳に夢とあこがれを



豊かな人間性・社会性 (和・徳)

- 自ら考え、自信を持って行動しようとする子ども
・自己肯定感を高める特別活動、道徳教育の充実
- 認め合い、支え合える子ども
・良さを認め合いながら、ともに成長していきけるコミュニケーション能力の育成

健康・体力 (体)



- 進んで身体を動かし、健康で安全な生活ができる子ども
・運動に親しみ、健康な身体の育成
・生命を尊重し、自他を大切にする心情の育成
・安心・安全に過ごせる学校を自ら創る意識の醸成

資質・能力の育成



学ぶ楽しさ (知)

- 「本物」に触れる体験活動の充実
- 言葉を大切にし表現力を高めていく国語科指導
- 語彙を増やし想像力を育む読書活動の充実
- 「つけたい力」を明確にした授業実践
- 知識・技能の確実な習得に向けた「菅小タイム」
- 問題解決能力等を育む協働的な学び



学ぶ良さ (知)



- 自分の考えを持ち、学び合いを通して、考えを広げたり深めたりできる。
- 失敗を恐れず取り組み続けることで、粘り強くチャレンジする力が身に付く。
- 見通しや振り返りを通して、自らの学びをメタ認知し、成長をさらなる意欲につなげられる。

めざす子どもの姿

- 自分を大切に、まわりとともに幸せを創れる子ども
- 自ら考え、自ら行動できる子ども
- あいさつができ、まわりに感謝できる子ども
- 学ぶ楽しさを知り、主体的に学び続けられる子ども
- 言葉を大切に、友達と良さを認め合える子ども
- 進んで運動し、健康で安全な生活ができる子ども

一人ひとりの個性に寄り添う支援

子どもの発達をどのように支援するか

- 教育相談コーディネーター、児童指導担当を中心とした校内支援体制と支援教育の充実
・自己肯定感を向上させるための支援の充実
・学習活動・インクルーシブサポーター、図書館指導員との連携、教職員間の連携の充実
・学級、学習室、日本語指導教室、通級指導教室の子どもの実態に応じた有機的な連携の推進
・SC、SSW、専門機関等との連携の強化

めざす教師の姿

- 愛と優しさ、人権感覚を基盤に、子どもの心に寄り添い、届ける教師
- 学び続け、成長し続ける教師
- 仲間と協働して子どもを育てる教師

地域・家庭との連携、協働の充実

- 「チーム菅原小」としての学校づくり：学年経営、ユニット連携の充実
- 「学び合う教師集団」であり続けるための校内研究・校内研修の充実
- 9年間を見通した小中一貫教育の推進
- 主体的に取り組む学習習慣の確立に向けた家庭との連携
- あいさつの習慣化に向けた地域等との連携
- 子どもの支援に向けた家庭・地域・関係機関等との連携の強化

安心・安全を守る

- 児童指導・支援教育の充実による子どもの安心・安全を守る意識や態度の醸成
- 家庭・地域・関係機関との連携・協力による防犯・安全体制の充実

ともにある学校づくり

- 学校運営協議会、地域学校協働活動推進員との連携の充実
- 持続可能なPTA活動の体制整備、連携の充実
- 「スクラムパパ」・「ポエム」をはじめとする地域ボランティアとの連携の充実